

5月20日：VN指数は4日ぶりの反落

投資家は慎重な姿勢を崩しておらず、週末のVN指数は0.07%安の1,240.71ポイントで取引を終えた。

同指数は午前中ほぼプラス圏で推移していたが、午後に入ると下げに転じ、4日ぶりの反落となった。

同指数は火曜日に56.4ポイント大きく上昇し、週間では6%の上昇となった。しかし年初来では18%以上下落している。

ホーチミン市場の出来高は大きく減少し、売買代金は12兆4,600億ドンとなった。

VN30指数では0.08%安の1,282.51ポイントで取引を終えた。同指数採用銘柄のうち、17銘柄が下落。そのうち、サイゴンビールアルコール飲料は3.9%安と、値下がり寄与度でトップとなった。

マサングループ（MSN）は2.4%安となった。直近3営業日では21%以上上昇していた。またビナミルク（VNM）が1.3%安、ペトロベトナムガス（GAS）が1.2%安とそれぞれ軟調だった。他にも、銀行セクターのベトコムバンク（VCB）-0.9%、ヴィエティンバンク（CTG）-0.8%、サコムバンク（STB）-0.7%がそれぞれ下げた。

その一方で、VN30指数では10銘柄が上昇した。フーニュアンジュエリー（PNJ）+3.8%、ベトナムゴム工業グループ（GVR）+3.3%とそれぞれ買われた。アジアコマーシャル銀行（ACB）+1.6%、軍隊商業銀行（MBB）+0.9%は、それぞれ上昇した。

外国人投資家はSSI証券（SSI）、ホアファットグループ（HPG）、サコムバンク（STB）を中心に、合わせて4,234億6,000万ドンを売り越した。売り越し額は直近5週間で最も大きかった。

ハノイ市場のHNX指数は0.32%安、UPCoM指数は0.64%安で取引を終えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。この二



ニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。